

融像幅の課題

課題1

プリズムによる融像幅の検査方法を基盤にバゴリニの眼鏡を用いて測定する方法を考えよ。

○斜視がない場合

○斜視がある場合

課題2

大型弱視鏡で近見の融像幅を測定したい場合、どうするかを簡潔に述べよ。

融像幅の課題 解答

課題1

プリズムによる融像幅の検査方法を基盤にバゴリニの眼鏡を用いて測定する方法を考えよ。

○斜視がない場合

バゴリニの眼鏡を装用し、光源が1つになっているかと×になっているのを確認し、片眼にプリズムを Base in に置き徐々に増やしてゆき、同側性に離れた位置のプリズム度数を読む(限界点)。限界点よりやや増やした度数から始め、今度は反対に徐々に減らしてゆき光源が1つになっているかと×になる点を読む(回復点)。同様に Base out でも行う。

○斜視がある場合

斜視角をプリズムで中和し、そこを基点として検査を行う。(ただし、融像が不可能で斜視になっており又、大型弱視鏡より日常に近いので幅の測定は難しい可能性もある)

課題2

大型弱視鏡で近見の融像幅を測定したい場合、どうするかを簡潔に述べよ。

近見が遠見の測定と違う点は、距離ではない。距離を変える目的は3D 調節させることである。調節を3D 行なわせる方法を考えればよい。

方法として距離が変えられないのであれば、レンズをかえるしかない。
ということは、遠視の状態にすれば良い。
屈折状態を弱める、拡散させるには凹レンズであり、3D 調節させるのであるから、 $-3D$ のレンズ。